

0x800CE1A ライセンス認証エラートラブルシューティングガイド

不具合内容

EDIUS / Mync でライセンス認証時に 0x800CE1A エラーが表示され、認証プロセスに失敗する。

作業環境

本書で記す作業を行う際は、Internet Explorer を使用してください。また作業は EDIUS / Mync が起動できる 環境、もしくは Internet Explorer で以下のサイトにアクセスできる環境で行ってください。

- <u>https://activation1.grassvalley.com</u>
- <u>https://ediusid1.grassvalley.com</u>

elD 用 CRL 配布ポイントを確認する

- 1) Internet Explorer (IE)のアドレスバーに https://ediusid1.grassvalley.com を入力します。
- 2) elD ログイン画面が表示されたら、アドレスバー右端の鍵アイコンをクリックし、証明書の表示を選択します。
- 3) [証明のパス] を選択し、ediusid1.grassvalley.com が選択されていることを確認します。
- 4) [詳細] を選択し、CRL 配布ポイントを選択します。
- 5) URLを控えます URL#1

 証明書 全般 詳細 証明のパス 		3
表示(<u>S</u>): <すべて>	~	
フィールド	被	^
回サブジェクト代替名	DNS Name=ediusid1.grassv	
፼ 拡張+-使用法	サーバー認証 (1.3.6.1.5.5.7.3.1)	
同 CRL 配布ポイント	[1]CRL Distribution Point: Di	
20 証明書ポリシー	[1]Certificate Policy:Policy Id	_
一般関情報アクセス	[1]Authority Info Access: Ac	
🛐 SCT 一覧	v1, 46a555eb75fa912030b5a2	
💽 キー使用法	Digital Signature, Key Encip	
🛐 基本制限	Subject Type=End Entity, Pat	~
[1]CRL Distribution Point Distribution Point Name: Full Name: URL=http://crl.sca1b	amazontrust.com/sca1b-1.crl	

6) [証明のパス] を選択し、Amazon を選択し [証明書の表示] をクリックします。

証明書	х
▲ 証明書 金般 詳細 証明のパス - 証明のパス(D) - Starfield Class 2 Certification Authority - Starfield Services Root Certificate Authority - G2 - Amazon Root CA 1 - Amazon - Certificate Authority - G2 - Certificate Authorit	×
証明書の表示(2)	

7) [詳細] を選択し、CRL 配布ポイントを選択します。



8) URLを控えます – URL#2



- 9) 手順#6 で以下を選択して、#6 から#8 を繰り返して URLを控えます (URL#3, #4)
- 10) 以下の URL を控えたことを確認します。
 - ediusid1.grassvalley.com : URL#1
 - Amazon : URL#2
 - Amazon Root CA 1 : URL#3
 - Starfield Services Root Certificate Authority G2 : URL#4

EDIUS ライセンス用 CRL 配布ポイントを確認する

- 1) Internet Explorer (IE)のアドレスバーに https://activation1.grassvalley.com を入力します。
- Flexnet Operations ログイン画面が表示されたら、アドレスバー右端の鍵アイコンをクリックし、証明書の表示を選択します。
- 3) [証明のパス] を選択し、activation1.grassvalley.com が選択されていることを確認します。
- 4) [詳細] を選択し、CRL 配布ポイントを選択します。
- 5) 表示される 2 つの URL を控えます URL#5, #6

フィールド	値	^
◎公開キーのパラメーター	05 00	
國機関キー識別子	KeylD=a48de5be7c79	
◎サブジェクト キー識別子	b4445cdf754341b38c	
回サブジェクト代替名	DNS Name=activation	
図 拡張キー使用法	サーバー認証 (1.3.6.1.5.5	
CRL 配布ボイント	[1]CRL Distribution Poi	
□証明書ポリシー	[1]Certificate Policy:Po	
◎機関情報アクセス	[1]Authority Info Acce	
圖基本制限	Subject Type=End Enti	~
URL=http://crl3.digicert CA-1.crl	.com/RapidSSLTLSDVRSAMixedSH/	A2562020
Distribution Point Na Full Name:	ime:	



- 6) [証明のパス] を選択し、RapidSSL TLS DV RSA Mixed SHA256 2020 CA-1 を選択し [証明書の 表示] をクリックします。
- 7) [詳細] を選択し、CRL 配布ポイントを選択します。
- 8) 表示される2つのURLを控えます URL#7, #8



- 9) 以下の URL を控えたことを確認します。
 - activation1.grassvalley.com
 - RapidSSL TLS DV RSA Mixed SHA256 2020 CA-1
- 10) 開いた画面をすべて閉じます。

URLをホワイトリストに登録する

控えたすべての URL をホワイトリストに登録します。登録完了後、EDIUS を起動します。